市長提出議案

取手市議会は議会基本条例により、議員間の公平で自由な議論を尽くすため、1議題につき3回まで討論を行うことができることとしています。
これまで1回目の討論を発言しない議員は2・3回目の討論はできないものとしてきましたが、今定例会から2・3回目からの討論発言を認めることとしました。

●取手市都市公園条例の一部改正…可決

とがしら公園テニスコートを人工芝に改修することに伴い、使用料を改定するもの。

〔討論〕

関戸議員…テニスコート改修は喜ばれているが、使用料改定には反対。また、申込者の市内・市外在住による区別をなくすべき。反対。

石井議員…市民のスポーツ振興が図られ、利用者増加も見込まれる。利用者からは使用料改定に理解するという意見がある。賛成。

とがしら公園テニスコート

●取手市農業委員会の委員の定数等を定める条例の一部改正…可決

農業委員会の委員の選出方法が改められるとともに、農地利用最適化推進委員の新設に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

〔討論〕

平議員…国民の命を守るために人の言うことを聞いて保身をはかって、お金をもらってればそれで済むという問題ではない。反対。

遠山議員…市町村長の任命制に変えれば恣意的な選任になりかねない。農家の代表機関としての権限をなくし、行政の下請け機関に変質させるもの。反対。

倉持議員…推進委員の任務は耕作放棄地の解消を目指す大変大きな役割。市の農地を荒らさないために、この改正で推進委員の積極的な活動に期待する。賛成。

遠山議員…耕作放棄地の解消、後継者不足問題、米価大暴落など、農家の立場に立った建議を行ってきた。

改正で委員会の変質に危惧する。公選制を生かして委員会活動してほしい。

倉持議員…農業委員会としての建議はなくならない。

委員が8人減るが、うち認定農業者は2人増える。委員会としての役割をさらに細分化し、より活発な委員会活動に期待する。

遠山議員…地域で認定農業者の方が立候補すれば選挙は可能。建議はこれまで法律で決められていたが、任意になることにより後退する。公正性がなくなる。

倉持議員…認定農業者の枠を義務付けたことにより、現在市内に58人いる認定農業者の約1割が委員になる。農業に対する大きな前進と考える。

●取手市行政組織条例の一部改正…可決

福祉需要の増大・健康福祉施策の多様化を踏まえ、より効果的に行政課題に対応することを目的に、健康福祉部を福祉部及び健康増進部の二部体制にするもの。

〔討論〕

阿部議員…2つの部に分かれても、さらなる市民サービスの向上を願う。多様化する健康福祉施策に対応すべく、改編することに賛成。

池田議員…行政の仕事の欠点は縦割りであることだが、福祉部も健康増進部も連携を取り、2つの部があることでの相乗効果を期待する。賛成。

市村議員…健康に対する強い意識とやる気がうかがえる。二部体制が効率的な運営を生み、時代に合った組織改革と考える。横の連携をより強くすることを切に願う。賛成。

取手グリーンスポーツセンター

●指定管理者の指定…可決

取手市立取手グリーンスポーツセンターの効果的な管理運営のため、指定管理者を指定するもの。

〔討論〕

小池議員…市民から要望が上がっても、十分に改善されないという意見があり、サービスが低下する。社会教育施設として市管理による公的運営を求める。反対。

入江議員…利用している市民からスタッフの対応や事業内容の充実など評価されている。黒字経営の実績があり、財政負担が軽減される。賛成。

①取手市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例…可決

番号法制定を踏まえ、特定個人情報について、行政組織内において情報の連携を行うもの。

②取手市税条例等の一部改正…可決

市税の猶予に関する制度について、国税の猶予制度の見直しを踏まえて同様に整備し、番号法の施行にあわせて法人番号に関する規定を整備するもの。

③取手市介護保険条例の一部改正…可決

番号法制定を踏まえ、介護保険料の徴収猶予及び減免に係る申請書の記載事項に個人番号を追加するもの。

〔討論〕

齋藤議員…さまざまな事情で滞納せざるを得ない状態の納税者に一筋の望みを与える効果が期待される。これまでも職員が丁寧に一生懸命対応しているが、今後は周知も徹底し、寄り添った相談の継続を願う。①に賛成。

平議員…マイナンバーは社会保障・税・災害対策の三分野だけで利用するはずだったが逸脱している。今、なぜマイナンバーをやらなければならないのか分からない。①～③に反対。

関戸議員…取手市や他の自治体でもマイナンバーの問題が起きている。法制化やさまざまな仕組みについて大問題になる。①に反対。

市村議員…既にもう個人番号はサーバに保管され、通信業者など管理会社が保有している。市でもそのような情報だということをしっかりと認識し、不正取得や自ら流出しないよう、万全を期して管理することを願う。①②に賛成。

●平成27年度一般会計補正予算…可決

〔討論〕

鈴木議員…マイナンバー制度により、個人情報が集積され、サービス抑制、税の徴収強化につながることが考えられる。税金を使うことには同意できない。反対。

落合議員…市民向け動画を作成し、市の魅力と誇りを再確認していただく。教育補助員の配置で円滑な学校運営が図られる。民間幼稚園への市有財産の貸し付けは、魅力ある子育て環境の充実に期待。賛成。

次回は2月15日(月)に臨時会を開会予定